

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野 I 基礎看護学	4 1 日常生活援助技術Ⅲ	排泄の援助技術	1	10/30	1年次後期	小泉 真希子

テキスト(発行所)	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ
テキスト以外の教材、参考図書	看護技術プラクティス 第4版 監修 竹尾 恵子 (学研)

学習のねらい	人にとっての排泄の意義を理解し、対象に応じた排泄の基礎的な援助技術を学ぶ
学習目標	1. 排泄の生理的、心理的、社会的意義について理解できる。 2. 排泄に影響を及ぼす要因について理解し、アセスメントできる。 3. 排泄行動に影響を及ぼす要因を理解し、対象に応じた排泄援助が考えられる。 4. 排泄器具の特徴を理解し、対象の安全・安楽に留意した排泄の援助が実施できる。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	排泄の意義と援助の基本 床上での尿器・便器による援助方法	・排泄の意義と援助の基本 ・排泄のしくみ ・便器・尿器の取り扱い	講義 演習 実習室
2回	排泄のアセスメント 排泄障害のある患者の援助	・排泄のアセスメント ・排泄物(便・尿)の観察 ・排泄障害の援助	講義 実習室
3回	排泄ケアのための基礎知識 ・ポートフォリオ学習会 ・事例に基づいた援助方法の検討	・排泄の性状 ・排泄のメカニズム ・排泄障害について ・自然排泄を促す援助方法	講義・GW 実習室
4・5回	自然排泄を促す援助方法	・トイレ介助 ・ポータブルトイレの援助方法 ・おむつ交換 ・車椅子トイレの介助	講義 演習 実習室・在宅実習室

単位認定の方法	1. 日常生活援助技術Ⅲは、本単元10時間と「清潔の援助技術」20時間を合わせて30時間1単位の科目である。そのうち、24時間以上の出席があること。 2. 「排泄の援助技術」30点、「清潔の援助技術」40点 「実技試験」30点(別途提示する)の合計100点満点のうち、合計60点以上で合格とする。 3. 本単元の評価方法 1)学科試験:25点 2)ポートフォリオ:5点 ①日々の学習内容を時系列にファイルする…1点 ②日々の自己学習の証が残されている…2点 ③本科目の学びと自己の成長について、400字程度にまとめる…2点 4. 1と2の条件を合わせて「日常生活援助技術Ⅲ」の1単位を認定する。
---------	--

受講上のアドバイス	人は生命を維持するために必要な物質や栄養素を取り入れ、不必要な物質・有害物質を体外に排出しています。排泄には人間の内部環境を維持するはたらきがあり、また、適切に排泄行動をとることは、社会生活上必要不可欠な生活行動です。また、排泄行為は、生理的な意味だけでなく、その人の社会性や尊厳にも関わる大切な行為であるため、援助の際には、様々な側面への配慮、観察の視点の必要性を理解してほしいと思います。 本科目では、排泄の基本的なメカニズムを確認し、床上での快適な排泄やおむつ交換の援助、ポータブルトイレを使用したベッドサイドでの排泄に対する援助技術について習得します。これらの技術は高齢社会や在宅医療の普及に伴い、近年、病院施設内だけでなく、様々な場で必要とされています。看護者として安全・安楽な排泄援助が行えること、また、対象の健康障害に応じた排泄方法のアセスメントについて意欲的に学びを深めていきましょう。
-----------	--

担当教員の 実務経験	病院で看護師としての実務経験あり
---------------	------------------